

小型家電リサイクル推進会議 概要

開 会

- ・環境指導課長より挨拶

小型家電リサイクルの全国動向

（経済産業省 四国経済産業局 資源エネルギー循環課）

- ・小型家電の回収実績
- ・市町村における取組状況
- ・認定事業者の取組状況（回収、再資源化等）
- ・これまでの国の取組事例
- ・「使用済小型電子機器等の再資源化を実施すべき量に関する目標」への到達状況及びその分析

<質疑・意見>

（質疑）

小型家電の回収量について、国目標値（14万トン）を達成するための、今後の対策は？

（回答・経済産業省）

事業者の取組がメインだ。

経済産業省において、

令和5年度から有識者、リサイクル事業者、小売事業者、製造事業者をメンバーとして、非公開で検討、論点整理をしてきた。

論点整理は終わり、今後は具体的にどういった品目で、どういった回収目標を設置、どういった対応をするかについて、

ワーキングや、資源循環経済小委員会等の会合の場で、

公開する形で、議論が進められていく。そちらの中で見えていく。

会議の場で共有できるものがあれば共有していく。

徳島県の取組と市町村の回収体制について

(徳島県 生活環境部 環境指導課)

- ・ 徳島県新未来創生総合計画について
- ・ 国に対する政策要望
- ・ e-モニターアンケートについて
- ・ 市町村の回収体制
- ・ 小型家電リサイクル法の取組状況

<質疑・意見>

(質疑・徳島県)

神山町、吉野川市、北島町等は、小型家電の回収量が住民1人あたり2kgを上回っており、いずれも、「ステーション回収」、「清掃工場等への持込み」に取り組んでいる。

神山町において、ステーション回収を実施されているが、回収ボックスを小型家電だけで設けているのか？

また、広報周知で気を付けていることは？

(回答・神山町)

- ・ 不燃物と一緒に出していただいたものを、分別。
- ・ 町内の回覧板等で、周知している。

(意見・みよし広域連合)

広域連合の場合、三好市と東みよし町を収集。三好市ではボックスも設置。

小型家電回収について、

- ① 三好市と東みよし町の環境課さんのほうで、粗大ゴミとして集まったものが広域連合の清掃センターに運ばれる。
 - ② 清掃センターに不燃物として、まとめて持ち込まれる方法、
 - ③ 一般の方が清掃センターに持ってくる
- の3つがあり、主には、三好市と東みよし町が個別に回収された小型家電をカウント。

一般持ち込みで持ち込まれた家電は、小型家電というより、粗鉄として取り扱っている。

小型家電リサイクルの場合、逆有償（回収・処理費用が回収される資源の価値を上回る）

の問題があるが、粗鉄だとお金が得られ、財政的には都合がいい。
財源措置をしていただけると粗鉄に回しているものを、小型家電でだせるようになる。
ピックアップ回収についても、人手が必要になるので、何かしらの財源措置を国に要望していただけると助かる。小型家電のピックアップに関しては、リチウムイオンによる火災対策にもつながるため、是非検討していただきたい。

小型家電リサイクル協会の取組

(一般社団法人小型家電リサイクル協会)

- ・協会の概要、沿革について
- ・小型家電リサイクルに係る取組状況
- ・小型家電リサイクルの一層の推進に向けて

<質疑・意見>

(質疑・一般財団法人徳島県環境整備公社)

小型家電を広域的に回収するため、
現行法の再委託禁止というところにメスを入れていくべきだと思っているが、
国のご意見を伺いたい。

(回答・小型家電リサイクル協会)

非常にいい意見。
なぜ運搬できないのかというところに、ハードルがあり、
1つは役員クラスの方が、産廃の収集運搬の講習を受けなければならないこと。

収集運搬の講習会は結構時間がかかり、長時間拘束される。
他に、運搬車両について登録をしないといけない、
小型家電リサイクル運んでいるというシールを貼らなきゃいけない等、
色々な車両も多々あるので、非常に難しいという話も聞いている。

我々も認定会社として、運搬は非常に重要な部分ですので、
そういう運搬事業者さん、宅配事業者さんだけでなく、
一般の運送会社さんともうまく連携できる姿がいいだろう。

おそらく、今後の審議会の中で課題として上がってくる可能性はあると思っている。
それで、一番根本の大事なところは、
県民の皆様が、どのようにすればもっとスムーズに出していただけるかを考えること。

県民の方々がいろいろな手段で、たくさんの仕組みが用意されている形で、
自分の一番出しやすい形で協力して下さいともっていきけるのが望ましい。

(質疑・徳島県)

2024年問題とか、運搬に関する事務的なリソース等、
産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬の業界も、なかなか人手が足りない。

小電をリサイクル、円滑に全国的に収集して、たくさん集めていくということになると、
正に規制緩和をして、運送会社・宅配業者さんの力を借りていくような方向性になった方が
いいのかな？というのが考え。

現状、小電リサイクル協会様は、運搬に関しての、宅配事業者さんとの連携をお考えか、
実態としてどうなのか、聞かせていただければありがたい。

(回答・小型家電リサイクル協会)

一昨年、こういった要望があるか、小型家電リサイクル協会の会員へのアンケートを実施。
その中で、運送業務、宅配等をもっと活用できないかというアイデアもある。
協会の中では、宅配事業の方々とも連携したいという要望はあるので、
運搬会社の方で、そういうことをやりたいという要望があるのなら、
そのあたりはこれからの議論の中で検討していきたい。

国として、目標値：14万トンをどう達成していくかという、
実際には我々協会の皆様、認定を取るときに、
どれぐらいの県の領域で、どれぐらい集めるかというような、計画をしないといけない。
その設備もないといけない。
我々の協会の中で、小型家電リサイクルについて、100万t以上可能な設備がある。

一方、回収量は14万トンをはるか下回っている。

ですので、まだまだできる余地はあるので、色々な集め方を考えて言う

ただ、それだけでは私も無理だと思っており、
運搬会社も慈善事業ではないので、運搬会社も「事業としても成り立つ」ような、
ウィンウィンの世界がないといけない。

いろいろな組み合わせで以て、県民の皆様には提案もできる、
行政の皆様にとっても、先ほどご意見がありましたが、「予算がかかるんだ」と。
言う話もあるが、
これは別の意見であるが、今までは粗大ゴミの中に小型家電が入っていたのですよね？

この粗大ゴミとして処理するのに、どれだけの費用がかかっていたのか、
そういうところも計算していただくと、
それを民間に出して、たとえ費用がかかったとしても安く処理ができる、

また民間企業の中でも、特定品目を中心にやっている方もいる、
全体をやっている方もいる。

例えば、全体をやっている方の中でも、誰もほしくないような物、
スピーカー、マッサージ器、置き時計等・・・

そこまでやりますか？と。

逆に、地方都市はそこまでしないといけないと思います。

いいものだけを取って、どなたかに販売すると。

残った物はだれがやりますか、と。

都会みたいに、人口が集積しているところであれば、
特定品目に強い会社が特定品目を中心にやって、
特定品目以外が得意な事業者がその分野をすると、

そういうやり方も、
人口が集積する、関東、中部、関西ならそのやり方もあるが、
地方の場合は、いいところだけ取ってしまうと、
もうけの低いところをする人がいなくなる。

その場所にあった、徳島なら徳島にあった方法を皆様に考えていただいて、私も協力はさせていただく。

なかなか、運送会社がいる会議は私も聞いたことがない、
そういう意味では貴重な会議なので、もっともっと皆様に良い意見をだしていただき、
前向きに徳島が、1人2kg達成できるようになっていけばいいなと思っている。

(意見・徳島県)

いただいたお話のように、
コンプライアンスを守るのが日本人だ、というところが私には響いていて、
分けるんだ、するんだ、ということになれば、きっと県民の皆様も、日本国民も
分けていくんじゃないかなということで

そこはひょっとしたら、法律の整備、
これからの、見直しの中で、何か新しいものができたらいいなと思いますし、
宅配事業者さんにお声がけをさせていただいたのがあまりないんだ、ということであれば、先進性みたいなのところも感じていただけて・・

オンラインでつながっている事業者様、恐らく環境省も聞いてくれているとは思っていますので、そのあたりもお含みおきいただいて、
徳島の小電リサイクル推進がさらに進んだらいいと思います。

リチウムイオン電池の仕組みについて

(一般財団法人徳島県環境整備公社)

廃棄物処理施設等におけるリチウム蓄電池に起因する火災事故を防ぐための取組について

(環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課)

(質疑・徳島県)

今回の通知の趣旨としては、リチウム蓄電池に関して、
正常品含め、膨張した異常品含め、市町村様に回収してほしいという通知内容だと思われるが、正常品の回収は市町村がされているが、異常品は回収できないという回答をいただ

いている市町村もあって、先ほどの小型家電の会議の中でも、
小家電協会から、住民目線であればいろいろな回収方法があれば、
もっと回収が進むというご意見もいただいた中で、リチウム対策についても、
例えばJBRCも、正常品しか回収していない状況であるが、
市町村以外にも、回収の手を広げると言った考えも環境省でお持ちじゃないか、
いかがでしょうか？

(回答：環境省)

我々としても、
膨張破裂、劣化したものの処理については、
問題があると認識しており、
我々の調査上でも、膨張・劣化したもののみにしても、
正確な現状把握ができていないことが課題点であると考えている。

そちらの状況、調査は引き続き環境省で取り組みたいと思っている。

ただ、今回は、市区町村さんに、回収を求めているところになるが、
資源有効利用促進法の改正が今国会で議論されたところで、
拡大生産責任というところで、
高い回収目標を掲げた事業者さんにおいて、
廃掃法上の特例を設けて、事業者サイドの回収を促していくことをお聞きしている。

その中で、膨張・劣化したものも、併せて回収いただけると考えている。

実際、現場で、膨張・劣化したものが処理上、貯まっているという実態もお聞きしており、
安全な保管方法、配送方法については、
環境省においても、フォローアップを考えており、
そういったところの対策を示しているが、不足しているため、引き続き検討していきたいと
考える。

収集運搬作業における労働災害防止対策について

(徳島県労働局 健康安全課)

- ・ 事故（火災・爆発）や労働災害の報告制度
- ・ 職場における熱中症対策の強化（労働安全衛生規則の一部改正）

リチウム蓄電池の適正処理に向けた県内の取組状況

(徳島県環境指導課)

閉 会

(意見・環境省四国事務所)

小型家電の回収量を増やすことについて、
14万トンの数字を達成しないと、利益が出るところまで行かない。
やはり回収量を増やさないと、逆有償の問題もあり、解決できない。

自治体さんが回収しないと、
最終処分場にいつているということであれば、
埋め立ての最終処分場の残余期間の問題も解決できるし、
海外に輸出された後でも、
輸出先で燃やし、その有害ガスを吸い現地の方が健康を害する問題もある。

有害なものが海外に出ないようにしないといけない、
電子電気機器は
いろいろな状態もあって、
輸出国にも確認しないといけない状況になっている。

そのためにも、自治体で、市民が回収できる体制を作っていく必要がある。

有価金属が、小型家電にかなり含まれているので、こういうところを回収しないと、
今後輸入が難しくなった状況の時に、経済にダメージが出てくる。

資源循環の仕組みを作っていくことが大切。自治体さんで小型家電を回収する。

先ほど、再委託のお話もあったが、
小型家電はいろいろなものがあり、有害なものもあるので、
慎重に対応しないといけないということで、廃掃法を踏まえ、再委託については、簡単には対

応が難しい。

なぜ私たちがそんな危ない取組をする必要があるのか、ということも認識しているが、回収している自治体の方が火災事故が少ないというデータもある。市民が出すところがあることで、火災を防ぐ効果もあるので、前向きに検討いただきたい。環境省の方でも、安全に関するガイドラインも題している。

事業者さんについても、リチウムイオンについて、技術を進めている。リサイクルができれば一番いいのかなと思っている。価値が出てくれば、皆がほしがるので、自ずと回収が経済的に回ってくるのかなと思いますので、そういったところも、環境省、経済産業省の補助金で、リチウムイオンのリサイクルに対しても補助を進めているので、御協力をお願いしたい。